

青少年総合研修センターの令和6年度管理状況

様式1

施設所管課	健康福祉部少子化対策監室
施設管理者	(株) アイ・イー・パートナーズ
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
中期経営目標 (R5～R9)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者人数をコロナ禍前の水準に戻します ・利用者アンケートによる満足度は毎年95%を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<p>施設の利用受付、案内等の接遇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県青少年総合研修センターは、県民の財産であることを常に認識し、県民の誰もが入りできやすい環境造りと職員が進んで利用者に笑顔のある挨拶を発していくことで、お客様のコミュニケーションを図った。 ・石川県の青少年が活躍する新聞記事や雑誌を切り抜き提示するコーナーや石川の歴史、いじめ防止の書籍コーナー、石川県内の青少年に関する催しコーナーを「青少年ライブリー」として今まで以上に発信していく。 ・職員教育の一環として、気配り、心配り、新規顧客拡大への勉強会や金沢市旅館組合、金沢市法人会主催の勉強会、講演会に積極的に参加をした。 ・地元食材を使った料理教室を6月、12月、3月に各1回合計3回開催した。 ・利用者の利便性を考え、自転車の無料貸出しを行った。 ・放課後児童クラブとの共催事業として、8月に子ども達30名を集めて、日本の伝統文化である和菓子作り体験を行った。 ・テレビ金沢との共催事業として、親子15組を集め、「まちなかの巨樹めぐり」を開催し、金沢市の町中に生息する巨樹を訪ね、巨樹の迫力と魅力を体験した。そしてPR活動とし、青少年研修センターのロゴが入った、テレビコマーシャルを30本放映した。 ・夏場の熱中症対策として、冷凍庫1台（合計4台）を購入し、各スポーツ団体に氷（10kg）を無償で提供した。 ・研修会場、宿泊部屋の全ての会場にWi-Fiが使用できる様に整備を行った。 ・全ての宿泊部屋25室に小型の冷蔵庫を設置した。
② 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにて研修会場、宿泊部屋、体験講座等の情報発信 ・石川県観光連盟広報誌「観光の手引き」による情報提供 ・北信越学生柔道優勝大会のパンフレットへの情報提供 ・全国青年団OB会のパンフレットへの情報提供 ・兼六園のぼんぼりに研修センターのロゴ掲載を行い、研修センターのアピールを行った ・石川のスポーツ応援マガジンに宿泊合宿の案内広告を掲載

(2) 令和7年度における取組内容の見直し等

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・非常時に備えて非常食と飲料水の備蓄を行う。（累計飲料水500ml、5,000本 食料カンパン500食） ・子ども達を集めての体験学習会（虫の観察会、和菓子作り体験）を開催する。 ・地元食材を使った料理教室を年間3回開催する。 ・テレビ金沢との共催事業として、親子を集めての講演会と研修センターのロゴを使ったテレビコマーシャルを放映し、PR活動を行う。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H29～31 年度 (基準値)	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	基準値比	R9年度 (目標値)
(1) 利用者数（人）	46,621人	22,267人	27,200人	27,667人	101.7%	59.3%	46,000人
(2) 貸館稼働率(%)	21.8	13.8	17.0	14.7	-2.30ポイント	-7.10ポイント	18.0
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	.0ポイント	.0ポイント	95.0
施設の維持管理(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	.0ポイント	.0ポイント	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	・昨年の能登半島地震による被災者の受け入れを5月まで行ったことと、5月のゴールデンウィークと夏休みの合宿の増加	・コロナ禍で中止されていた研修会や講演も徐々に開催されてきたが、オンライン会議の普及により以前より研修会、講演会、会議が減少してきた
貸館稼働率	・昨年の能登半島地震で1月～3月に毎日、2部屋を被災者の方へ貸出しをしていたが、本年は4月のみとなつたため、貸館の利用件数が減少した（前年140室→60室へ）	・コロナ禍で中止されていた企業研修が開催されたが、研修の形態が変わり、リモート研修の増加と全員で、研修する機会の減少で、基準を下回る結果となった

<利用者アンケート結果（令和6年度実施 有効回答数192件）>

項 目	回 答			
	良 い	概ね良 い	やや悪 い	悪 い
利用者サービス(%)	93.8	6.2	0.0	0.0
施設の維持管理(%)	94.3	5.7	0.0	0.0

3 施設等の維持管理

項目	実施内容	
(1) 清掃	・日常清掃：毎日 ・特別清掃：年1回	・定期清掃：週1回、月1回
(2) 設備保守点検	・施設全体の空調：年6回 ・消防設備：年2回 ・空調調和設備：年12回 ・防虫防鼠設備：年12回	・電気設備：年12回 ・昇降設備：年12回 ・給排水衛生設備：年1回
(3) 植栽維持管理	・研修センターの敷地内の定期的な草刈りと除草剤の散布（4月、6月、7月、9月、10月、3月）を行った ・4月に研修センター界隈の溝清掃と竹林整備を行った	
(4) 警備	・1年365日1名の人員を配置を行った	
(5) 小規模修繕	・大浴場の温度調整をするモーターの修繕 ・循環ポンプの修繕	・天井照明の修繕 ・多目的トイレの扉の修繕 など

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・消防避難訓練の実施：年2回（6月、11月） ・非常時の連絡体制や対応マニュアルの周知徹底 ・食の安全性に対する講演会の実施
(2) 個人情報の管理状況	・基本協定（個人情報の取扱いに係る特記事項）に基づき、適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
研修室	897	0	
宿泊部屋	2,738	0	
合計	3,635	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
研修室	21,728,350	1,674,280	36件 青少年の健全育成に資する事業を行うために使用する場合
宿泊部屋	31,643,655	100,855	4件 青少年の健全育成に資する事業を行うために使用する場合
機材	863,820	136,600	31件 青少年の健全育成に資する事業を行うために使用する場合
コピー	76,090	0	
合計	54,311,915	1,911,735	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	62,730,459	人件費	23,207,810
利用料収入		光熱水費	15,777,938
その他		修繕費	2,937,220
		その他	20,807,491
合 計 ①	62,730,459	合 計 ②	62,730,459
収支差額 ①-②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和6年4月	宿泊部屋の案内表示がわかりにくい	会場内のPOP表示の見直し
令和6年7月	大浴場にドライヤーの数を増やしてほしい	男女脱衣所に各1個のドライヤーを設置していますが、これ以上増やすとブレーカーが落ちる為、各宿泊部屋にドライヤー1個を設置する
令和6年7月	通路が暗い為、明るくしてほしい	1階から4階の通路の照明器具をLED照明に取換えた
令和6年8月	研修会場だけではなく、宿泊部屋にもWi-Fiを繋げてほしい	宿泊部屋25室と4階多目的の簡易和室にWi-Fiを繋げるようとした
令和7年1月	4階通路には、暖房の空調設備がない為、寒かった	ファンヒーターを2基購入して、通路に設置した

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
令和6年4月	大浴場の温度調節器が作動しなくなつた	老朽化した温度調節器の取換えを行った
令和6年5月	男子トイレの洗面所の水が出なくなつた	老朽化した手洗いセンサーの取換えを行った
令和6年10月	倉庫の天井照明が漏電を起こし電気が点かなくなつた	修理で現状の器具が使用出来ないため、照明一式LEDに取換えを行った
令和7年2月	駐車場内の融雪装置が作動しなくなり、融雪の水が出なくなつた	配線から受水槽の点検を行った所、電極操作線が老朽化で破損したため、取換えを行った
令和7年3月	2階の多目的トイレの自動扉の開閉が出来なくなつた	自動扉の部品一式とトイレのスイッチCBの取換えを行った
令和7年3月	1階大研修室のクロスが劣化により剥がれ落ちた	会場のクロスを剥がして、新しいクロスに張り替えた

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍以降、企業の宿泊研修の縮小や廃止により、利用者数は基準年と比べて減少したが、部活動等への営業活動により利用者の確保に努め、令和5年度に比べると増加している。 利用者のニーズに応え、案内POPの見直しや宿泊部屋へのドライヤーやWi-Fiの設置を行った。 こうした取組みの結果、利用者アンケートでは「良い」だけで90%以上を維持した。
(2) 施設等の維持管理	A	<ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃や設備保守点検、警備等が事業計画どおり適切に実施されている。 設備の修繕やメンテナンスを積極的に実施し、利用者の利便性向上や安全確保に努めている。 不備や故障が発生した場合でも、迅速な管理・修繕が行われている。 近辺の竹林整備や清掃にも心がけている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> 適切な職員の配置がなされており、業務に関する研修等を積極的に実施している。 非常時の連絡体制やマニュアルを適正に定め、職員に周知している。 利用者に対する気配り、心配り、新規顧客拡大への勉強会を積極的に行い、金沢市旅館組合や金沢市法人会主催の勉強会、講演会にも参加している。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍以降のニーズの変化により、基準年に比べると利用者数等が減少しているが、施設の設置目的に沿った管理運営がなされており、利用者の利便向上に努めている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
 B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
 C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
 D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
 B（良）：優れた管理運営がなされている
 C（可）：適正な管理運営がなされている
 D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

--